

大学共同利用連携拠点の発足にあたり

神戸大学・惑星科学研究センター(CPS)

神戸大学惑星科学研究センター(Center for Planetary Science : CPS) は、国内外に開かれた惑星科学の学術拠点として 2007 年 4 月に誕生し、大学や機関および国の枠を超えた人材育成や研究活動を支援し、惑星科学の様々な領域から研究者が集い、知見情報が集積される場を作ってきました。この度 CPS は、これまでの活動に加え、JAXA・宇宙科学研究所の大学共同利用連携拠点として太陽系探査科学の発展に貢献することとなりました。

大学共同利用システムによる宇宙科学研究を推進する中核機関として JAXA 宇宙科学研究所は、双方向連携強化による共同利用・共同研究の一層の充実に向けた活動が行われており、その一環として神戸大学では、惑星科学研究センターが中核となり、理工連携による太陽系探査科学に関するプログラムの策定に寄与し、宇宙科学探査ロードマップの具体化にサイエンスの面から貢献する拠点となることを目指しています。

その活動内容は、

- (1) 太陽系探査ミッション創出のために、ミッションの科学目的の先鋭化を宇宙科学研究所の連携研究者や宇宙・惑星科学コミュニティーの研究者とともに推進。
- (2) 探査を牽引する人材育成のために惑星探査の立案過程を実地に訓練する場として、探査ミッション立案スクールを実施。

神戸大学ではすでに「はやぶさ 2」小惑星探査の宇宙衝突実験や「あかつき」金星探査において、惑星探査の一躍を担っていますが、今後は、さらに宇宙科学研究所との連携により、太陽系探査科学の拠点として研究・教育を推進して行く所存です。ついては、大学共同利用連携拠点としての活動を開始するにあたり、以下の要領でワークショップを開催いたしますのでご参集いただければ幸いです。

名称：第6回 CPS 月惑星探査研究会
・大学共同利用連携拠点キックオフワークショップ

日時：8月27日(木)13時～8月28日(金)15時
場所：神戸大学・惑星科学研究センター(CPS)*
<https://www.cps-jp.org/access/>

8月27日(木)

13時-16時 火星衛星サンプルリターンセッションその1
16時-18時 CPS-ISAS 大学共同利用連携拠点の目指すもの
18時-20時 懇親会

8月28日(金)

9時-12時 火星衛星サンプルリターンセッションその2
13時-15時 月・惑星探査，惑星科学，太陽系科学のミッションの創出に向けて

世話人：観山正見，林 祥介，大槻圭史，荒川政彦，中村昭子
高橋芳幸，保井みなみ，巽 好幸(神戸大学)
倉本 圭(北大)，渡邊誠一郎(名大)，尾崎正伸，上野宗孝(ISAS)

*備考1：ネットワーク会議システムによる中継も行ないません。

接続ご希望のサイトは tansa-rgst@cps-jp.org でご連絡ください。接続希望サイト多数の折には同一キャンパス内等，近傍でのサイト集約にご協力お願いすることもあります。

*備考2：参加登録

神戸 CPS 会場に起こしただけの方には，懇親会人数確認をかねた，参加登録をお願いします。参加登録エントリーは CPS ホームページ(<https://www.cps-jp.org/>)にログインいただきますと，ページ右側に表示されます。CPS アカウントをお持ちでない方は tansa-rgst@cps-jp.org にご一報ください。

今回の大学連携の目指すものは，今後の太陽系探査に関わるミッションをコミュニティーが主体性を持ってボトムアップに創出して行く事を支援・推進していくことを目的としていますが，キックオフとなる本ワークショップでは，現在検討が行われている火星衛星サンプルリターンミッションについて，その目指すサイエンスとミッションの検討状況について掘り下げた議論を行い，科学内容の先鋭化と開発すべきキー技術の明確化を促すとともに，広く参加者を募り，情報共有を進めることによりミッション全体を支えるコミュニティーの拡大と連携強化の一助となることを目指します。また，CPS-ISAS 大学共同利用連携拠点で計画している活動の紹介とその内容についての議論を行い，将来のミッション候補となるワーキンググループの発足に向けた活動を開始させたいと考えております。

惑星科学コミュニティーでは，将来の太陽系探査を推進する大型計画案「太陽系生命前駆環境の実証的解明」を惑星科学会会長名で日本学術会議に提案し，マスタープラン 2014 に採択されており，全国の研究者を有機的に連携する，惑星科学研究コンソーシアムの発足をめざしています。CPS はこれまでの大学や学会の垣根を越えた活動等の実績から，コンソーシアムの統括部門としての機能を果たす事が期待されており，今後のコンソーシアム活動の強化についての議論も行いたいと思っております。